

特発性正常圧水頭症

特発性正常圧水頭症（iNPH）はくも膜下出血、髄膜炎などがなく、歩行障害、認知症、排尿障害（尿失禁）などの症状をきたす疾患です。

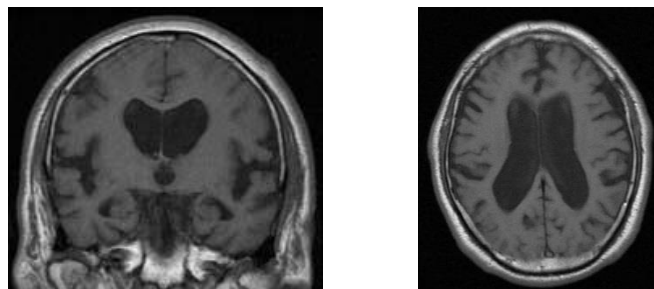
（症状）

歩行障害では、歩幅の減少、足の拳上低下、開脚歩行のため、歩行速度が低下し、不安定になります。記憶障害のほかに、注意障害、実行機能障害、語想起障害などの脳の働きが低下します。切迫性尿失禁がみられ、尿が漏れることがあります。

（診断）

問診（上記症状と時間的経過）と診察、脳 MRI で特徴的な病的変化を検討します。さらに髄液排除試験（タップテスト）を行い、症状が改善すれば、iNPH の診断がつきます。

iNPH 患者の頭部 MRI



（治療）

脳脊髄液を腹腔内に誘導し、吸収させるシャント手術を行い、症状の改善が期待できます。